

第2回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和7年2月27日（木）午前9時30分から午前11時30分
開 催 場 所	栄区役所本館4階2号会議室
出 席 者	吉永崇史委員長、海野由喜代委員、千原友子委員、箕口一美委員、柳田満（号煌海）委員（5人）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者0人）
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 第4期横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価について
決 定 事 項	1 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条及び「横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第9条に基づき、公開とした。 2 委員会としての評点は、使命1について「B」、使命2、使命3、使命4、使命5、使命6について「A」、収支計画及び指定管理料について「A」、総合評価を「A」に決定した。 3 業務評価報告書に記載する内容を確認した。
議 事	<p>1 会議の公開・非公開について</p> <p>（吉永委員長） 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条及び「横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第9条に基づき、公開で進めることができ望ましいと考えるがいかがか。 （⇒異議なし）</p> <p>2 第4期横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価について</p> <p>○使命1について （吉永委員長） ・現場をよくご存じの柳田委員がBにした理由を教えてほしい。</p> <p>（柳田委員） ・ギャラリーの床が汚れていたのを数年間放置されていたのが気になっている。 ・ホールは稼働率がいいが、ギャラリーはまだ余地がある。現在は、貸館が主体になっているが、それだけでなく、自主事業でプロを呼ぶのはどうか。</p> <p>（海野委員）</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">悪い意味ではなく、期待する意味でBをつけさせていただいた。 |
|--|---|

(千原委員)

- Bをつけた理由としては、使わせていただいている者として、空調について夏は湿気が多く、冬は乾燥する。加湿器を用意してくれたり、除湿器を用意してくれたりするが難しい問題。

(箕口委員)

- A、B、Cという3段階の評価基準は判断が厳しくなってしまう。5段階であれば、もう少し細かく評価できる。
- コロナ禍のなか、全国的に比較するとかなり頑張っている。

(吉永委員長)

- 利用率の目標として、会議室90%台は高い数字なにどうか。

(箕口委員)

- コロナ禍になり、その後、人が戻ってこないのだと思う。

(指定管理者)

- 今期の目標は、公募要項の条件により、提案時に、コロナを前提としていない目標設定をした、というのが大前提としてある。
- 会議室は戻っては来ているが、コロナ前には戻ってはいない。
- この会議室を選んでもらえるように、会議室に付加価値をつけるしかない。ステーショナリーを置く。あるいは置き菓子付きの自動販売機を置くことを考えている。
- 現時点では、利用率9割は難しいと考えている。

(吉永先生)

- 例えば、私も、コロナ禍でオンライン会議の便利さを知ってしまった。利用者が戻ってくるかというと懐疑的。この目標設定は現実的ではないと思う。ただ、設定時に、コロナ禍のなか、そこまで読めなかつたとは思う。

(柳田委員)

- 近隣の類似の貸室の単価を計算し比較した。リリスが一番高い。
- それでも8割程度の利用率というのは頑張っている。
- 他の施設では自主事業をやって空きを埋めている。
- 知名度の高いリリスがカルチャースクールを開設し募集・運営すれば、2割の空きは埋まるのでは。

(指定管理者)

- ・自主事業で埋めようとすると相当数実施しないと埋まっていかないと思っている。
- ・貸館で付加価値を上げて底上げが先と考えている。
- ・自主事業を行うということは、収入があって、支出がある。この会議室規模で、収支が合うノウハウは現時点ではない。赤字を出して、自主事業をやれば、利用率は上がるが、収支は悪化する。そのため、なかなか踏み出せていない。

(柳田委員)

- ・貸館が優先するのは理解できる。穴を埋めるためにフレキシブルに対応できればいいのでは。
- ・付加価値をつける意義はわかるが、利用者としてはそれほど不便を感じていない。それで、どこまで改善できるかは懐疑的。

(吉永委員)

- ・行政評価がBであるが、会議室も含めた利用率、及びギャラリーの利用者数についての判断だったと思う。
- ・ギャラリーについては、指定管理者の責によるものというよりは、状況変化に関する問題であり、どうやって対応していくかという話ではないか。総意としては、状況の変化に対応していくってほしいという期待をこめたBととらえるがいかがか。

(箕口委員)

- ・色々な意見が出て、風通しが良いのがいい。伸びしろ期待のBでいいのでは。

(吉永委員長)

- ・それでは使命1については「B」とさせていただきたいと思う。
(⇒Bに決定)

○使命2について

(吉永委員長)

- ・すべてAのため、Aでいかがか。
(⇒異議なし)

○使命3について

(吉永委員長)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・柳田委員がBをつけた理由について教えていただきたい。 |
|--|---|

(柳田委員)

- ・全体的に、リリスは音楽に特化している。ただ芸術には、創作（美術、書道等）他の分野もある。そこにも力をいれていただきたい。「鑑賞」というのは、音楽だけではない。音楽に偏っているということで、Bをつけている。

(吉永委員長)

- ・お考えは、よく理解できる。
- ・ただ、4期の公募時に、響きの良いホールを生かした事業を中心に提案して、採択されているため、評価委員会としてはそれに従う必要がある。
- ・次期の提案に生かします、と指定管理者に受け止めていただいていると認識している。
- ・そのため、この点に関しては、今回の評価に含めないというのが公正なのではないかと考えるが、いかがか。

(柳田委員)

- ・異議はない。
- ・ギャラリーでプロの展示を増やしてはいかがかということも思っている。

(吉永委員長)

- ・ギャラリーの利用者数の課題もあり、リリスの存在意義も考えると、見直ししていただくことも必要かと思うが、今後そういったことへ対応していただく期待も含めて、使命3についてはA評価とさせていただきたいと考えるがいかがか。

(⇒異議なし)

○使命4について

(吉永委員長)

- ・すべてAのため、Aでいかがか。

(⇒異議なし)

○使命5について

(千原委員)

- ・譜面台が重い。本番で苦労する。

	<p>(吉永委員長)</p> <ul style="list-style-type: none">・譜面台を更新るのはお金がかかるのか。 <p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none">・開館以来、ホールと音楽ルームの譜面台を変えていない。・ご意見はいただきしており検討しているが、お金がまわっていないというのが実態。・ネジも回りづらいので使いづらいのは事実。理解している。 <p>(吉永委員長)</p> <ul style="list-style-type: none">・更新できない状況の中で、他に対応策はあるか。 <p>(千原委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・各自所有のものを持っていくというはある。 <p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none">・譜面台がそろっていないと、舞台で違和感はある。・軽い譜面台もあるが、本番では倒れてしまうので、向き。・50台～60台あり、100万円以下だと思うが費用はかかる。 <p>(箕口委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・持ち運びや耐久性を考えなくてはいけない。・軽いものは壊れやすい。 <p>(柳田委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・次回評価について、安全管理の視点にもっと重きを置いた方がいい。・ギャラリーの照明がLEDになってから、天井に近い部分に影ができてしまう。・トイレがウォシュレットになっていない。ハンドドライヤーも必要では。 <p>(指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none">・ウォシュレットについては、以前業者に確認したが、難しいと言われた。他の利用者からも意見をもらっているので、あらためて、複数社呼んで確認したい。 <p>(吉永委員長)</p> <ul style="list-style-type: none">・電源等、構造上の問題もあるかもしれないが、できるか、できないかの判断を明確にしていただきたい。・LEDで影ができてしまうことについてはいかがか。 <p>(指定管理者)</p>
--	--

- ・もともとは白熱球のため、まんべんなく光が出ていた。
- ・LEDにしたところ、光源が小さくなり、真ん中が明るくなり、まわりが暗くなり、影の部分がでてくるのは確認した。
- ・設置場所を変えて、まんべんなく光があたるよう調整したい。
- ・くもったカラーフィルターで、光を拡散するものがあるので、LEDの見た目が悪くなるかもしれないが、それを貼って光を拡散すれば、改善するかもしれない。ただ、光量が減って明るさが減ってしまうので、利用者にどちらがいいか確認して、進めていきたい。

(柳田委員)

- ・私は毎年2度、リリスで開催する書道展の概要を全国紙「美術新聞」に投稿、掲載してもらっている。その際、写真を掲載したいが、その部分に影が映っていると、全国の人を見て、リリスの印象が悪くなってしまうので、掲載してもらわないことにしている。そういうことが行われていることを認識していただきたい。

(吉永委員長)

- ・使命5は、「持続可能性を高める施設運営を行う」というもの。ご要望については、可能な限り対応いただくこととし、この評価については、Aにさせていただきたいと考えるが、いかがか。

(⇒異議なし)

○使命6について

(吉永委員長)

- ・すべてAのため、Aでいかがか。

(⇒異議なし)

○収支計画及び指定管理料について

(吉永委員長)

- ・すべてAのため、Aでいかがか。

(⇒異議なし)

○総括について

(吉永委員長)

- ・すべてAのため、Aでいかがか。

(⇒異議なし)

(海野委員)

- ・指定管理者が誠実に対応いただき、うれしく思う。
- ・消費税について質問し、回答いただいた。(別紙のとおり)

(千原委員)

- ・バイオリンをやっていて、リリスを使わせていただいている。
- ・演奏形態は様々あるが、練習の場として、コンサートホールとして、色々なニーズにあわせてくれている。
- ・これだけ音響のいいホールは珍しい。CDの録音にも使われている。
- ・午後のコンサートは、リーズナブルで若い人を呼ぶ企画は素晴らしい。
- ・NHK 交響楽団の方も呼ぶ企画もあり、楽しみ。
- ・館長の手腕にこれからも期待したい。

(箕口委員)

- ・東京都、横浜市、他の地域で、指定管理者の評価をさせていただいているが、こんなにわかりやすい報告書ははじめてだった。
- ・他の施設も、同じようなフォーマットだが、なにがどこにつながっているのか、どのような活動をしているか、わかりにくい。
- ・何を期待されているか、何を実現するために指標を立て、どのように実現していくか軸が通っている。
- ・誰かが責任をもってちゃんと見ている。
- ・文句のつけどころがない。
- ・地域とのつながりについて、館の責任者が出ているところ、実は多くはない。地域コーディネーターはよくあるが、非常勤だったりする。館長が、キーパーソンとつながっていて、必要なものを把握している。だからきちんとした報告書になっていて、把握しやすい。
- ・アーティストの活動についてはいわずもがな。
- ・スタインウェイの購入と寄贈(寄附)のプロセスに問題ないのか。

(事務局回答)

- ・栄区民文化センターにとって最も良いピアノを選定し、購入・搬入する必要があったため、指定管理者に選定し、購入してもらった。その後、横浜市に寄贈(寄附)の手続きを取ったが、プロセスには問題はなかったと考えている。

(箕口委員)

- ・寄贈(寄附)という言葉が正しいのか。

(事務局回答)

- ・指定管理者が調達した備品等を市の所有とするためには、「寄贈」として横浜市物品規則第 29 条に規定された手続きをとることが必要。他の物品についても同様の手続きをとっている。

(吉永委員長)

- ・指定管理者に負担を強いているのではないか。

(事務局回答)

- ・選定、購入等にかかる費用を全額横浜市で負担している。

(柳田委員)

- ・自己評価、行政評価の文章は秀逸。
- ・9つの提案をさせていただいている。(別紙のとおり)
- ・リリスが、思ったより地域に踏み込んで活動している印象を受けた。文化協会も区民の中に溶け込んでいきたい。
- ・総じて、指定管理者はよくやっていると感じた。細かいことを知っているため、「B」を3つ、つけさせていただいた。

(吉永委員長)

- ・1つ1つの文章に誠実さを感じ、嬉しく思った。
- ・データの解釈についてもよく考察されている。
- ・ギャラリーの利用人数をどうすればいいのか、どういう問題なのか、考えさせられた。構造的な問題で利用人数が落ち込んでいる。コロナ禍や高齢化という要因もあり、そもそも誰の責任なのか。どこまで利用人数を増やせるのか、どこまでが指定管理者の限界で、どこまでできるのか。ギャラリーを魅力的にしていくことはもちろん必要だが、公平性の問題もあり主催者を選ぶことはできない。どのように主催者の方と連携して進めていけばいいか、その責任の分担を明確にしていただきたい。ここまでできます、ここまででは主催者の責任とわけていただくのが必要。構造的な問題に対し、思い切った対策が求められる、失敗する可能性もある。トライアンドエラーでリスクを負ってやっていただく、その後検証していただくことを期待している。

- ・設備の老朽化に対し、予防的な対策ができていない。構造的な問題。100万円以上のものは横浜市負担という区切りがあるが、80万円だったらどうなのか、お見合い状況になってしまるのは、避けて、横浜市と連携してほしい。エアポケットになる部分について、どちらかが気づいた方が一步踏み込んで相談してほしい。
- ・高齢化の状況で、単にギャラリーの来場人数を増やすのではなく、本質的には、栄区民が芸術に触れ豊かな感性を育むことが目的。ホームページ等で、リリスで行

	<p>していることを発信し、疑似体験できるような発信もギャラリーの来館を補完するのでは。人数に固執するのではなく、芸術に触れる機会を増やすのも一つの考え方。</p>
資 料 ・ 特 記 事 項	<p>3 業務評価報告書について</p> <p>事務局から令和6年度横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価報告書の案を説明した。今後、事務局で案を作成し、委員長一任の上まとめさせていただいた上、各委員に送付させていただき、栄区長に報告することとなった。</p> <p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 次第 (2) 第4期横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価表 (3) 各委員評価一覧 (4) 各委員評価コメント (5) 各委員質問及び提案 (6) 令和6年度 横浜市栄区民文化センター 指定管理者業務報告書（案） (7) 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>